

年次大会を一考する

輪島 七尾 勝利

毎年秋になると地区の年次大会に参加することを楽しみとして、ロータリーの基本的理念を理解し、なお関係各位の好意と友情に接し得ることを喜びとしています。

しかし毎年のことながら大会後の印象としては、何か少し満たされないものを感じるのには私一人でしょうか。その不満の原因を考えてみますと、まずプログラムのマンネリ化が主因と感じられますので、この点に就いて私見を申し上げます。

まず開会直後の出席者紹介はステージ上の特別参加者に対しては、最少に止め、他は見取図で記入をしたらより明白になります。一般参加クラブはプログラムに明細記入してありますので、逐一に呼び上げる必要はないでしょう。それらの時間を短縮して主要の行事に充当するべきであります。

RI会長代理のメッセージは大切でありませんが、特別講演の人選を、特に重視を願います。講演中の私語は論外としても居眠者の多い演説は、どうも困ります。

部門別協議会も大切ですが、会場の

都合もありますので近年はパネル討論会、或いは寸劇等により、より一層の効果を得る方策は誠に結構だと思えますが、それらは大会第二日となっています。そして年次大会に於ける最も不快なことは第二日の参加者が著しく減少することです。良識あるべきロータリアンの大会で過半数が中退することが慣例となった原因は、会員のマナーが悪いのか、プログラムが不完全なのか、大いに探究すべきであります。

次に懇親会と宿泊に就いては、近次の大会は開催地が逐次地方都市に移行していますので、会場建物に大きな場所がない場合があることは止むを得ない現実であります。

そのようなときは参加者全員の懇親会は廃止して希望夕食会に止め、一般の参加者は宿泊旅館毎にクラブを交えて夕食会を催したら如何でしょうか。近似都市のロータリアンと夕食会に交歓する楽しみのみならず、夕食費の重複をやめられる筈であります。

大会場ではロータリー精神を体得したつもりでも、旅館では他クラブの会員と会っても目礼も交さず過ぎて味気ない思いをしたことがあります。

次に記念品を廃止して、友愛の広場等での地域特定の銘産品を自由に所要数を買うこととしたら適当な土産品となります。

大会記念誌の内容も省略して要点に止め、その本の外装が如何に立派でも、後日これを再読する人が將して幾人いるのでしょうか。最後に中退防止案としてはプログラムの最終に各クラブの出欠を明らかにした上で、その後盛大なアトラクションを催すことも考えられます。その他会場装飾等なるべく簡素にして内容の効果を多くし、総ての経費を節約することにより現今の世情に対応してほしいものであります。

(石川県・材木製造)